

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月11日

計画の名称	村山市における生活環境の改善と施設の健全化の推進												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	村山市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、老朽化施設の健全化を図る。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	87	A	87	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27当初	中間目標値 H29末	最終目標値 H31末
1	下水道が利用可能な区域の割合(下水道整備率)を86.7%(H27)から87.3%(H31)へ増加。 下水道が利用可能な区域の割合 下水道処理区域面積/下水道事業計画区域の面積	87%	87%	87%
2	村山市生活排水処理整備基本構想策定率を0箇所(H27)から1箇所(H31)へ増加。 村山市生活排水処理整備基本構想策定率 基本構想策定済数/基本構想を策定すべき数	0%	100%	100%
3	下水道による雨水排水整備率を11.38%(H27)から11.42%(H31)へ増加。 下水道による雨水排水整備率 雨水排水整備済面積/計画面積	11%	11%	11%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	村山市	直接	村山市	管渠（ 污水）	新設	河島第1号幹線系枝線（ 未普及対策）	φ150mm L=0.1km	村山市	■					9	—	
	A07-002	下水道	一般	村山市	直接	村山市	管渠（ 污水）	—	下水道事業計画見直し	計画見直し業務	村山市	■					1	—	
	A07-003	下水道	一般	村山市	直接	村山市	管渠（ 污水）	—	下水道事業計画見直し	計画見直し業務	村山市					■	7	—	
	A07-004	下水道	一般	村山市	直接	村山市	管渠（ 污水）	—	村山市生活排水処理施設 整備基本計画	生活排水処理施設整備基本構 想の策定	村山市	■					2	—	
	A07-005	下水道	一般	村山市	直接	村山市	管渠（ 污水）	改築	污水管、マンホールポン プ（長寿命化対策）	長寿命化 L=1.5km、MP4箇 所	村山市	■	■				54	—	
	A07-006	下水道	一般	村山市	直接	村山市	管渠（ 雨水）	新設	新高田第2号幹線（浸水 対策）	L1600mm L=0.1km	村山市	■					14	—	
												小計					87		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H27	H28	H29	H30	H31											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計							87									

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係課で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて今後の事業計画を検討することとした。	令和2年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 汚水管渠の整備により、下水道整備率が86.7% (H27当初) から87.3% (R1末) になった。 2. 排水処理施設整備基本構想の策定により、策定率が0% (H27当初) から100% (R1末) になった。 3. 雨水排水施設の整備により、整備率が11.38% (H27当初) から11.42% (R1末) になった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	

○特記事項 (今後の方針等)

<p>今後は、経済性を勘案し、宅地開発等に対応した効率的かつ適正な整備を進め、良質な居住環境の提供を図っていく。</p>
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理区域面積／下水道事業計画区域面積	
	最終目標値	87%
	最終実績値	87%
2	基本構想策定済数／基本構想を策定すべき数	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	雨水排水整備済面積／計画面積	
	最終目標値	11%
	最終実績値	11%